

第16期(2021年3月期)第2四半期決算説明会

2020年11月20日



アジアパイルホールディングス株式会社

目次

I 決算のポイント、主なトピックス	1
II マーケットの動向	11
III 決算概要(連結)	16
IV 経営概況	22

I 決算のポイント、主なトピックス

I-1 決算のポイント

➤ 2021年3月期 第2四半期連結業績の概況

(%表示は対前年同期増減率)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
455億円 (△3.1%)	19.8億円 (△27.3%)	17.9億円 (△25.9%)	18.9億円 (+24.7%)

減収減益
(前年同期比)
純利益は増益

➤ 2021年3月期 連結業績予想に対する進捗状況

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
52.3%	47.3%	47.3%	80.8%

営業/経常利益
は未達乍ら、
概ね計画通り進捗
純利益は過達

I-2 決算のポイント

➤ 国内、海外の状況

国内	売上横這い・減益	+	パイルシェアトップ確保
海外	減収・利益横這い	+	高収益案件への注力

➤ 部門別売上高

コンクリートパイル
前年同期比△7.1%の減収

場所打杭
同+22.7%の増収

鋼管杭
同△23.9%の減収

I-3 主なトピックス

国内展開

競争激化/MAGNUM工法受注拡大 パイルシェア引き続きトップ

新工法：Smart-MAGNUM工法開発

施工現場におけるICT工事管理展開中

継手メーカー：シントク工業(株)の連結子会社化

海外展開

コロナ
影響

ベトナム
PV社

投資活動低迷
再生可能エネルギー分野への拡大推進中

ミャンマー
VJP社

ロックダウン等による業務環境悪化

資金調達

銀行借入による長期資金調達

I-4 主なトピックス

国内展開

競争激化/MAGNUM工法受注拡大 パイルシェア引き続きトップ

➤ MAGNUM工法は主力工法に成長し、売上高の30%を超える

➤ コンクリートパイルシェア(2020年上半期)

完工シェア	30.2%
-------	-------

出荷シェア	27.4%
-------	-------

⇒共に引き続きシェアトップ

➤ 工事の大型化が進展

期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2020/9期
大型工事割合	57%	64%	65%	70%

新工法 : Smart-MAGNUM工法開発

➤ 新工法:「Smart-MAGNUM工法」の開発 ⇒ 更なる優位性強化

2020年9月 日本建築総合試験所 性能評価取得

(特徴)「MAGNUM工法」に適用地盤の拡大などの機能を追加

合理的な設計と施工の一層の効率化を可能にした

I-5 主なトピックス

国内展開

施工現場におけるICT工事管理展開中

- 施工管理の効率化（タブレット端末活用）
～施工現場での工事管理、各種報告書作成等の効率化～
⇒ 業界標準を展望

継手メーカー：シントク工業(株)の連結子会社化

- 継手金具メーカー・シントク工業(株)連結子会社化(6月末)
 - ✓ 国内業界全体のサプライチェーンの安定的確保／品質向上
 - ✓ アセアン地域への良質な部品供給体制の構築
 - ✓ 今期連結決算影響：負ののれん発生益7.7億円(暫定)

I-6 主なトピックス

海外展開	コロナ 影響	ベトナム PV社	投資活動低迷 再生可能エネルギー分野への拡大推進中
		<ul style="list-style-type: none">➤ 投資活動低迷 国境閉鎖による海外からの投資低迷➤ 再生可能エネルギー分野の基礎工事関連事業に注力 利益率の高い案件の受注強化	
		ミャンマー VJP社	ロックダウン等による業務環境悪化
		<ul style="list-style-type: none">➤ 最大都市ヤンゴンやティラワ工業団地のロックダウン等により 業務環境悪化 生産体制再整備し、受注強化を目指す	

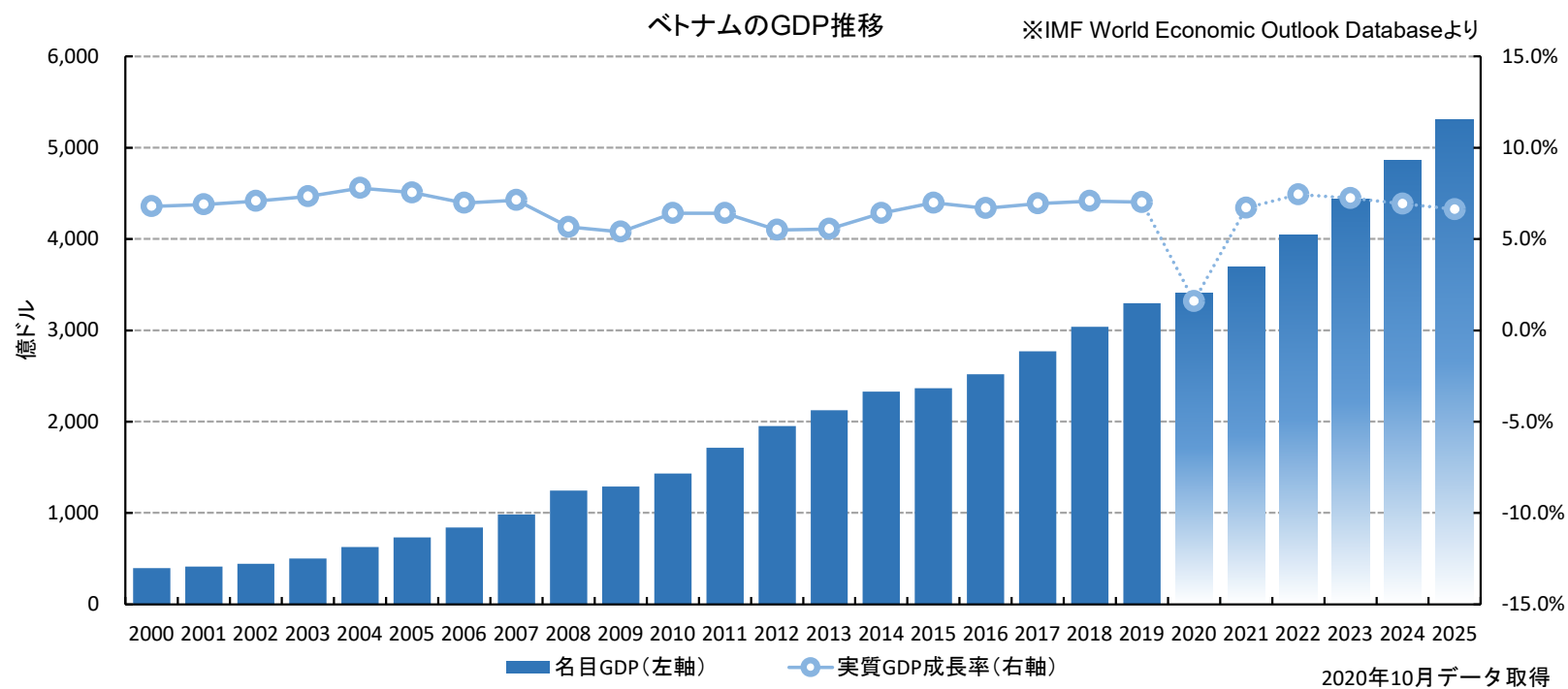
I-7 主なトピックス

資金調達

銀行借入による長期資金調達

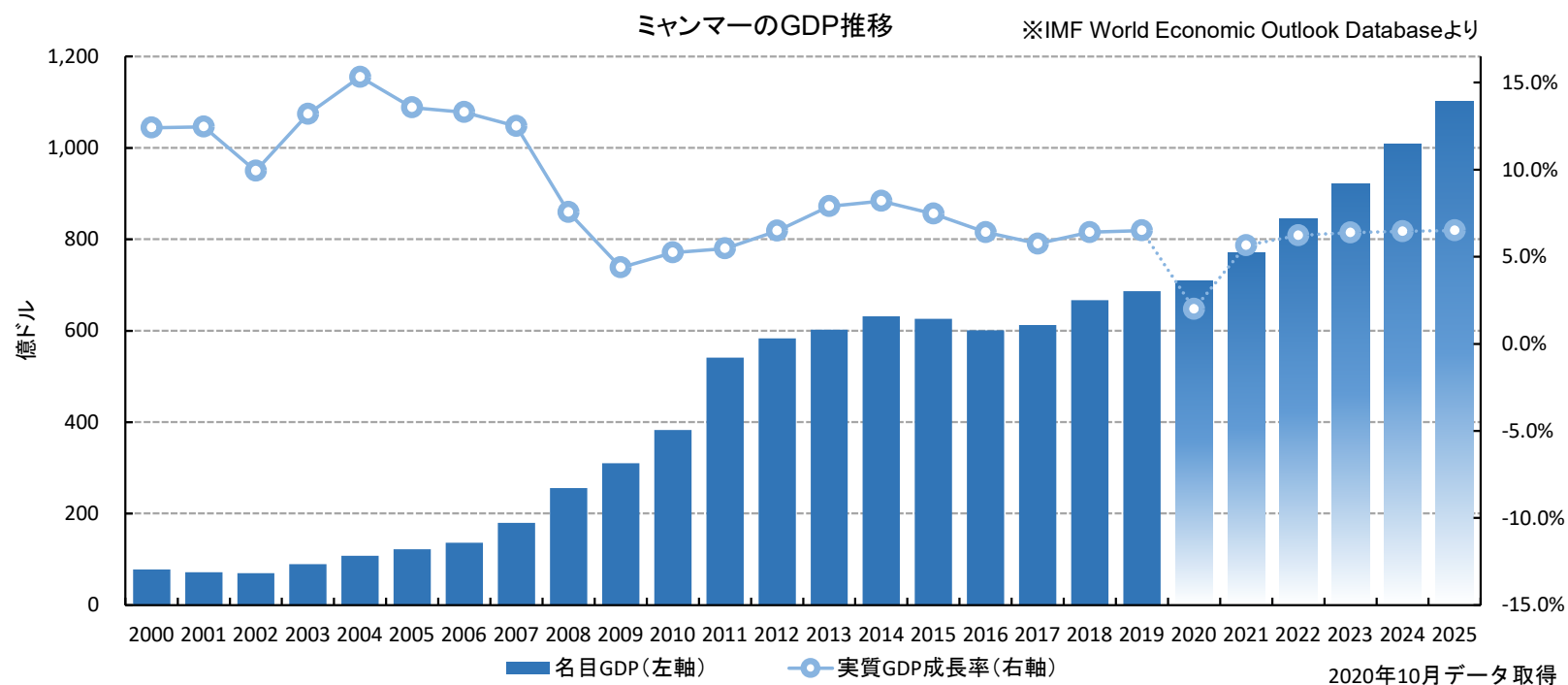
- ▶ 長期資金収支安定化の為の資金調達：30億円

(ご参考) ベトナムのGDP推移



- 2020年GDP成長率はプラス1.6%
- 2021年はプラス6.7%の成長が見込まれる

(ご参考)ミャンマーのGDP推移

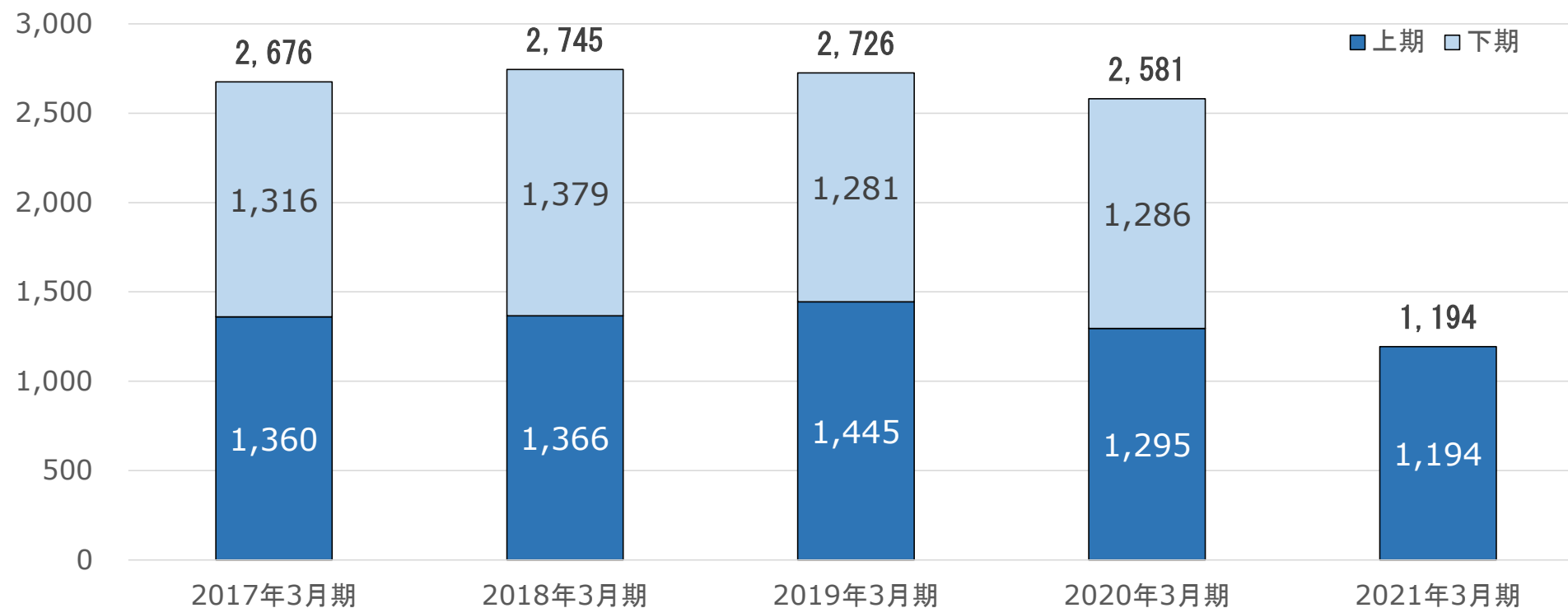


Ⅱ マーケットの動向

Ⅱ-1 全国コンクリートパイロ出荷量

(単位：千トン)

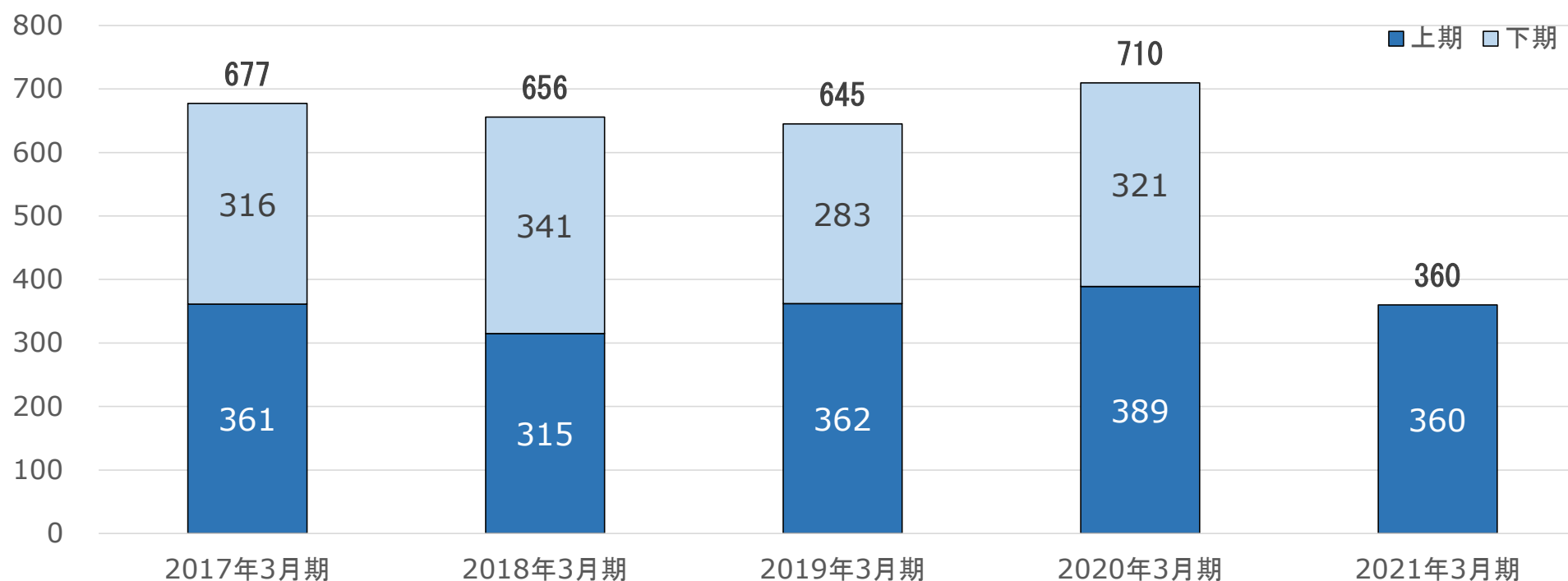
(出典)一般社団法人 コンクリートパイロ・ポール協会資料



➤ 2020年度上期は官需・民需ともに減少し、前年同期比 7.8%減少

Ⅱ-2 当社グループのコンクリートパイプ完工量(国内)

(単位：千トン)



➤ 2020年度上期は前年同期比 7.4%減少

Ⅱ-3 コンクリートパイルのシェア(国内)

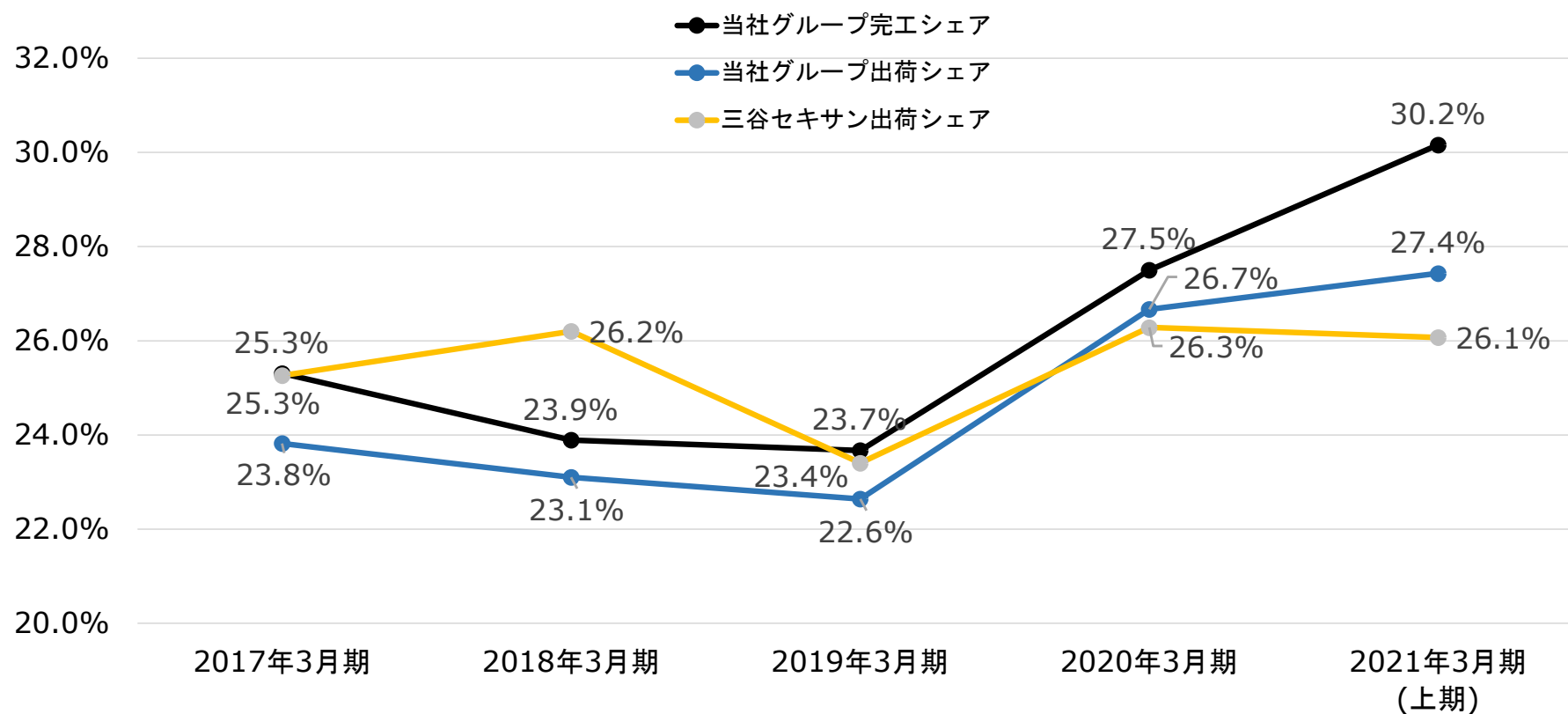
(出典)一般社団法人 コンクリートパイル・ポール協会資料および当社社内資料

		2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 (上期)
当社グループ	完工量(千t)	677	656	645	710	360
	シェア	25.3%	23.9%	23.7%	27.5%	30.2%
	出荷量(千t)	637	634	617	688	328
	シェア	23.8%	23.1%	22.6%	26.7%	27.4%
三谷セキサン	出荷量(千t)	676	719	638	678	311
	シェア	25.3%	26.2%	23.4%	26.3%	26.1%
日本コンクリート工業	出荷量(千t)	213	257	333	241	112
	シェア	8.0%	9.3%	12.2%	9.3%	9.4%
日本ヒューム	出荷量(千t)	249	289	252	247	99
	シェア	9.3%	10.5%	9.3%	9.6%	8.3%
トーヨーアサノ	出荷量(千t)	170	179	175	140	82
	シェア	6.3%	6.5%	6.4%	5.4%	6.9%
その他	出荷量(千t)	731	668	711	586	262
	シェア	27.3%	24.3%	26.1%	22.7%	21.9%
業界全体	出荷量(千t)	2,676	2,745	2,725	2,581	1,194
	シェア	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

➤ 国内完工シェア・出荷シェアともに前期に引き続きトップ

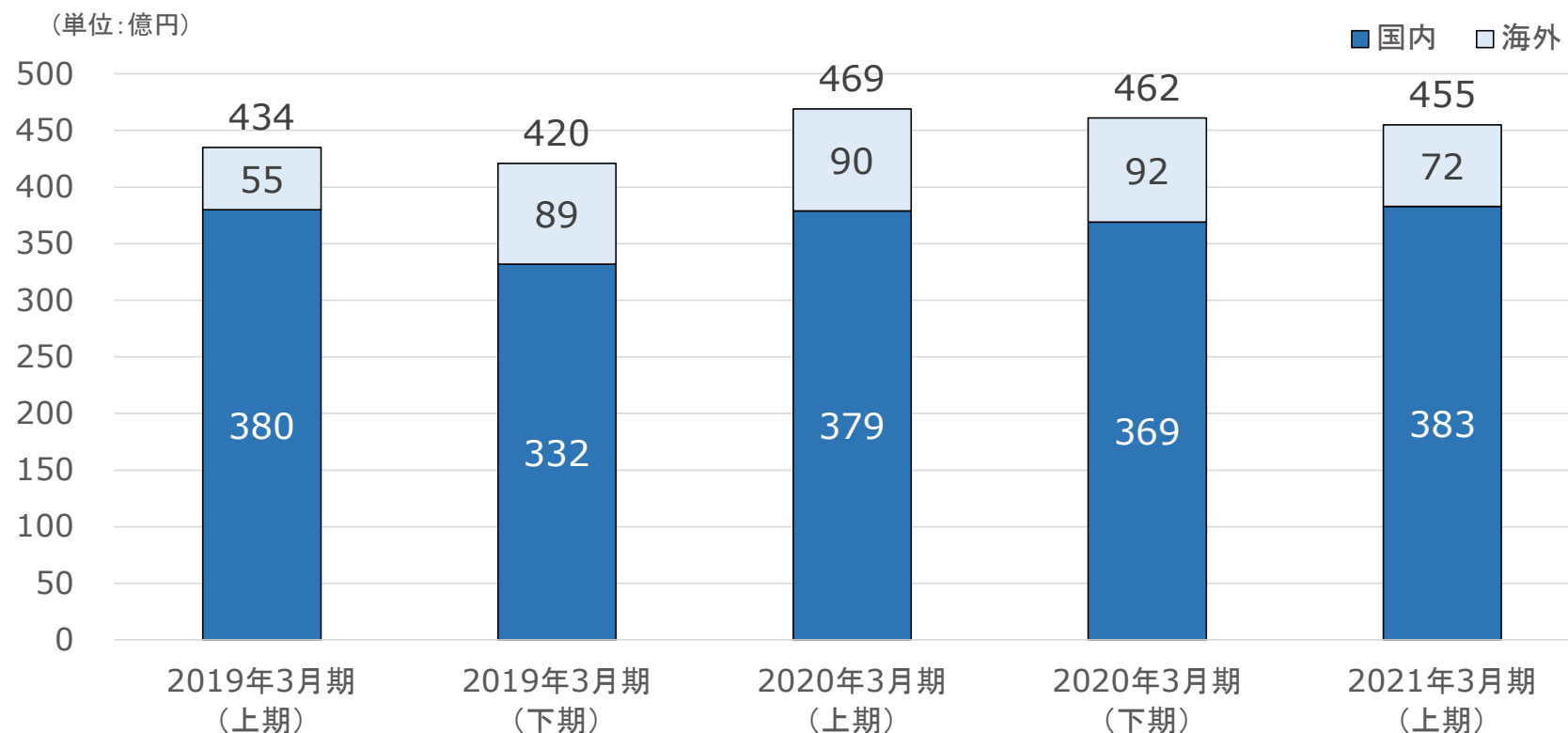
Ⅱ-4 コンクリートパイルのシェア推移(国内)

(出典)一般社団法人 コンクリートパイル・ポール協会資料および当社社内資料



Ⅲ 決算概要(連結)

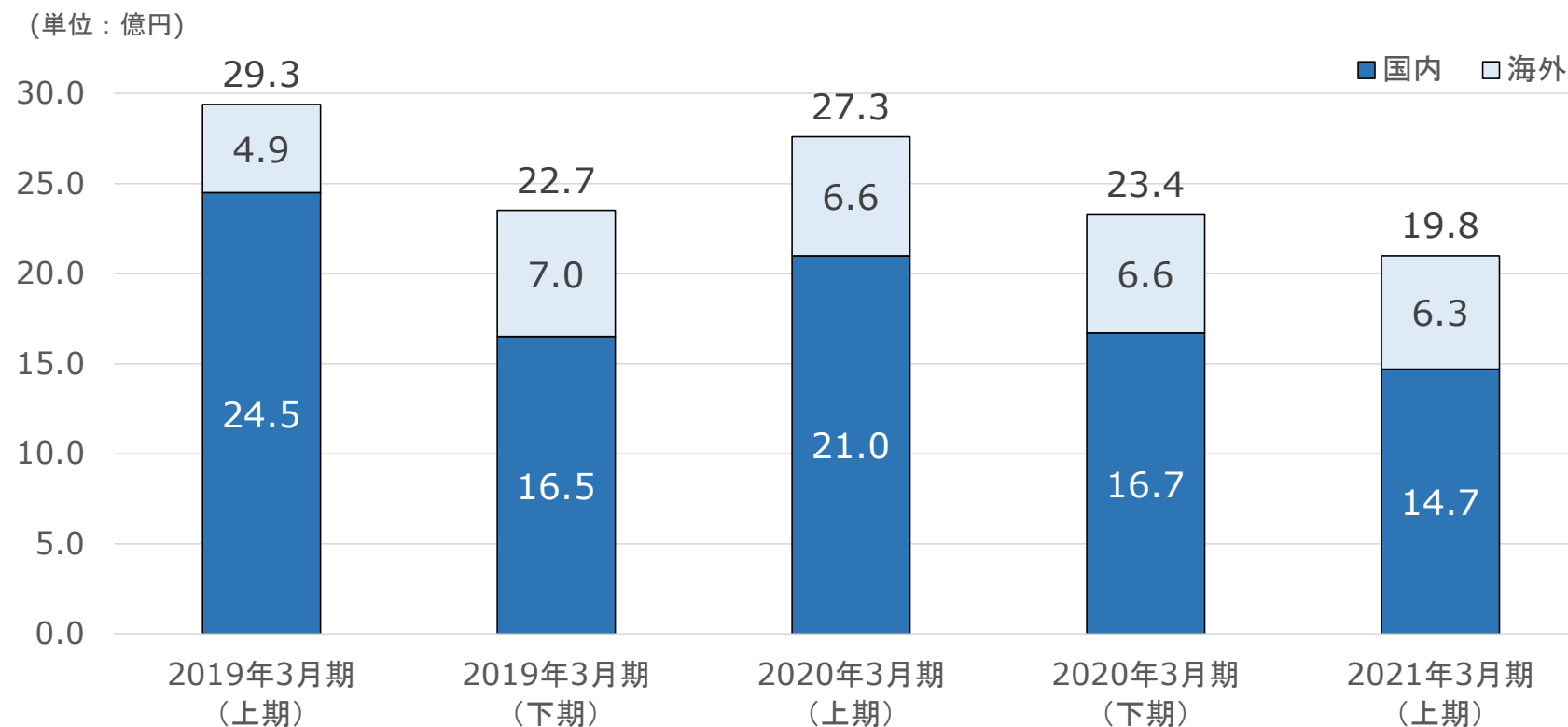
Ⅲ-1 売上高の推移



➤前年同期比 国内横這い、海外減収

(注)売上高の国内・海外内訳は連結調整前

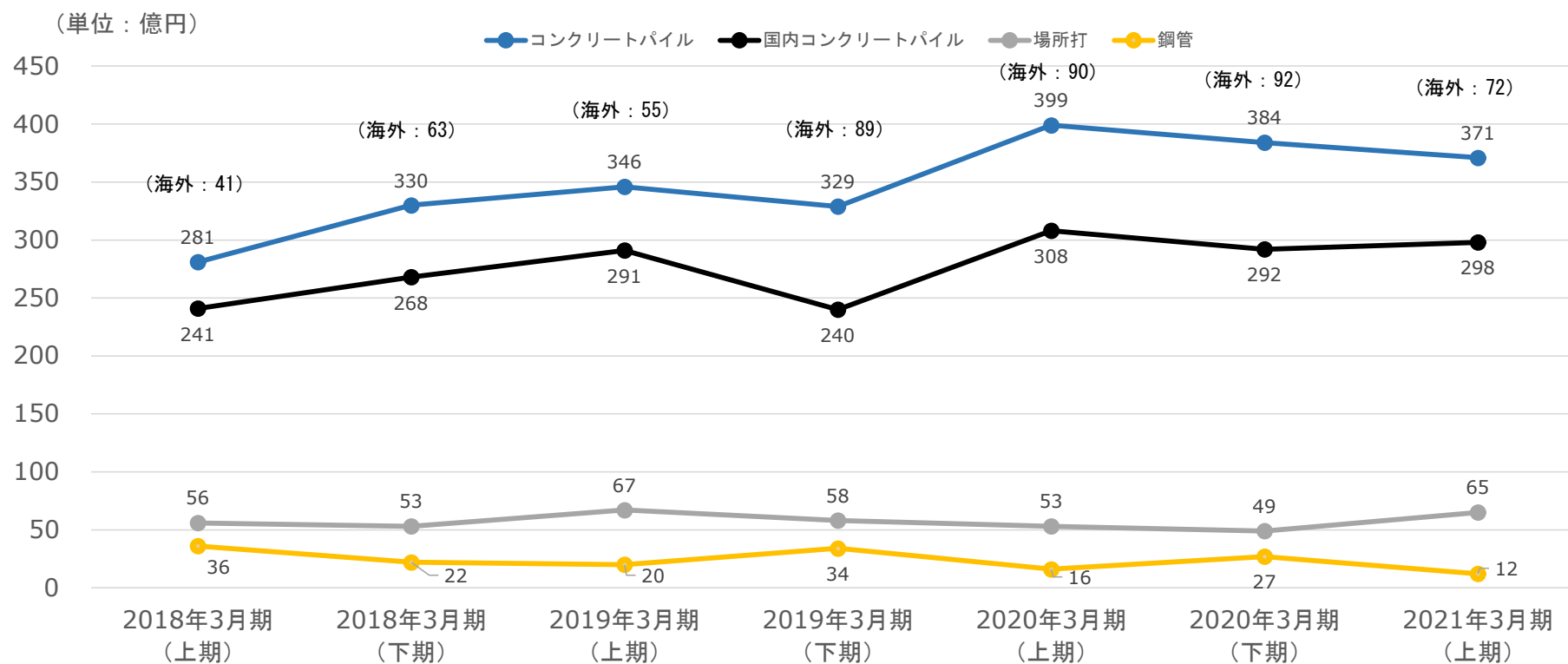
Ⅲ-2 営業利益の推移



➤前年同期比 国内減益、海外横這い

(注)営業利益の国内・海外内訳は連結調整前

Ⅲ-3 部門別売上高の推移



(注) シントク工業(株)の連結寄与額は、上記に含まれておりません

Ⅲ-4 損益計算書

(単位:百万円)	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期	
	(上期)	通期	(上期)	通期	(上期)	通期	(上期)	通期	(上期)	通期
売上高	35,806	74,422	37,365	77,994	43,491	85,566	46,962	93,175	45,528	87,000
売上総利益	5,159	10,463	5,264	11,336	7,089	13,593	7,209	13,860	6,421	-
営業利益	1,334	2,534	1,325	3,223	2,937	5,212	2,731	5,076	1,984	4,200
経常利益	1,203	2,382	1,203	2,997	2,794	4,847	2,427	4,596	1,797	3,800
親会社株主に帰属する当期純利益	846	1,629	761	1,911	1,986	3,164	1,522	2,712	1,899	2,350
売上高総利益率	14.4%	14.1%	14.1%	14.5%	16.3%	15.9%	15.4%	14.9%	14.1%	-
自己資本当期純利益率	-	6.3%	-	7.0%	-	10.5%	-	8.1%	-	-

Ⅲ-5 キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期
	(上期)	通期	(上期)	通期	(上期)	通期	(上期)	通期	(上期)
I. 営業活動によるキャッシュフロー	△ 676	2,296	288	1,750	△ 211	3,195	3,652	6,891	3,773
II. 投資活動によるキャッシュフロー	△ 1,048	△ 2,502	△ 2,017	△ 3,001	△ 1,769	△ 3,164	△ 1,267	△ 2,549	△ 2,531
III. 財務活動によるキャッシュフロー	△ 1,508	△ 1,177	1,668	2,014	77	1,937	△ 2,074	△ 3,636	1,709
IV. 現金及び現金同等物の期末残高	6,874	8,759	8,611	9,424	7,478	11,330	11,629	11,957	14,902

IV 経営概況

IV-1 経営概況

1. 上期の一般情勢

2. 当社の上期の特徴

- (1) 国内売上高は予想より良かった
- (2) 海外のコロナ影響が大きかった
- (3) コロナ影響は受注にでた
- (4) 場所打ち杭は好調に推移
- (5) MAGNUM工法が主力工法に成長した

IV-2 経営概況

3. 当社の重点方針

- (1) Smart-MAGNUM工法の投入
- (2) ベトナム子会社における新規分野開拓
- (3) 場所打ち部門拡大への取り組みの強化

4. 今後の業績の展望



アジアパイルホールディングス株式会社

Building the foundations of Asia

アジアの基礎をきずく。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、環境の変化等により、実際の結果と異なる可能性があることにご留意下さい。

また、本資料の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性については一切保証いたしません。